



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：イスラム諸国会議機構とアラブ連盟の協力合意署名 (2月22日付サウジ・ガゼット紙)

1. イスラム諸国会議機構 (OIC) とアラブ連盟が協力合意書に署名した。両機関はバイとマルチの関係を増進し、盟友の絆を強化することに合意した。この合意書には、21日エクメディーン・イサノグル OIC 事務局長とアムル・ムーサー・アラブ連盟事務局長がジッダ市の OIC 本部で署名した。
2. この合意では、OIC とアラブ連盟が政治、メディア、経済、社会、化学の分野での協力の枠組の設立を通じ協力と強調を強化することとされている。またこの合意には、両機関がメディア、経済開発の面、特に共同投資、文化関係強化、アラビア語普及の分野でのより広範囲な協力と強調を行うことが規定されている。
3. この合意には、合意の規定実施状況をフォローアップするために毎年会合を開催する共同委員会の結成を呼びかけるメカニズムも盛り込まれている。政治面では、アラブ諸国及びイスラム諸国の関心問題についての定期的な意見交換を行うことが合意された。また、両機関は国際会議への参加の前準備として両機関の立場や政策を調整するための共同会合を開催したり共同会合に相互に代表者を出席させたりすることに合意した。
4. 両事務局長は、国連安全保障理事会がイスラエルにパレスチナ人の虐殺の責任を取らせるように仕向けなければならない。